

子育て支援者養成講座

NPO 法人 ファミリーステーション Rin

〒470-0134 愛知県日進市香久山 1-601 Chip in 香久山 203 号

助成事業の概要

子育て家庭の現状を理解した上で、地域の子育て家庭を「見守り、寄り添い、支える活動をしていただく人材育成」のために、子育て支援者養成講座を開催した。（）内は参加者数

【基礎講座】 2024 年 7 月～ 8 月開催：全 8 講座

7/24 子育て家庭の現状と家庭福祉…（特非）子育て支援を考える会 TOKOTOKO 理事長 坂 鏡子氏（13 名：内 5 名動画）

7/27 子どものアレルギーの話&交流会…プライムツリーこどもクリニック 清水 恵子氏（12 名）

7/31 保育原理／生活と遊び…名古屋学芸大学教授 渡辺 桜氏（11 名：内 3 名動画）

8/7 子どもの発達と関わり…日進市 保健師 宮田 あかね氏（12 名：内 3 名動画）

8/21 子どもの食事と栄養…日進市 栄養士 出雲 絵梨奈氏（11 名：内 2 名動画）

8/24 小児保健…プライムツリーこどもクリニック 清水 恵子氏（10 名）

8/28 配慮が必要なお子さんへの対応…子ども発達支援センター作業療法士 倉田 朱美氏（10 名）

9/8 小児幼児救命講習…日進市消防署員（14 名）

【専門講座：訪問支援者養成講座】（全 9 講座）

9/13 訪問支援事業の必要性・有効性…愛知県立大学 教授 神谷 摂子氏（13 名：内 2 名動画）

9/20 産前産後の母親の身体と育児について…名古屋記念病院 産婦人科部長 廣中 昌恵氏（18 名：内 2 名動画）

10/4 職業倫理と配慮事項 / 対人援助の価値と倫理…社会福祉士 牛田 由美子氏（16 名：内 4 名動画）

10/5 母子ケアの重要性と効果…助産師 衣川 友紀氏（14 名：内 2 名動画）

10/11 子育て家庭の理解／支援事業／援助スキル…社会福祉士 牛田 由美子氏（15 名：内 2 名動画）

10/19 訪問時の心構え（子どもの世話）…助産師 衣川 友紀氏（12 名）

10/26 訪問時の心構え（関わり方のコツ）…訪問型サポート事業マネージャー（11 名）

10/26 沐浴実習…助産師 衣川 友紀氏（11 名）

11/13 実践 スキルアップ（調理）&交流会…管理栄養士 伊藤 日奈子氏（13 名）

【その他】 3 講座

4/21 小児幼児救命講習…日進市消防署員（17 名）

11/10 小児幼児救命講習…日進市消防署員（20 名）

1/4～2/28 オンライン 人権研修「ネットいじめから考える人権侵害がある社会とその直し方（荻野 チキ氏）」（19 名）

3/2 産後クエスト講座 金指 朋代氏（キャリアコーディネーター）（6 名）

事業の成果

一次成果

・受講者数：基礎講座および専門講座には計 47 名が参加し、全科目修了者は基礎講座 7

名、専門講座 9 名となり、受講者の積極的な参加が確認できました。特に動画受講の導入により欠席者にも対応でき、修了者が増加しました。

- ・講座内容の習得：基礎講座では、現代の子育て事情や育児方法を学び、地域での子育て支援ボランティア活動に必要な基礎知識を習得しました。専門講座では、出産前後の母子ケアの重要性と訪問支援事業の必要性・有効性について学んだほか、ロールプレイングや実習を通じて実践的な専門スキルを習得しました。講師には、日進市の小児科医や保健師、栄養士、助産師、大学講師など、各分野の専門家を迎えました。
- ・オンラインでの人権研修受講、出産前後の生活をゲーム感覚でシュミレーションする「産後クエスト」を開催し、妊婦さんと共に学び合い、活発な意見交換を行いました。

二次成果

- ・支援者の増加：講座修了後、一部の参加者はファミリーサポート事業の援助会員として登録し、地域の相互援助活動を始めています。このような地域の子育て支援活動がさらに活発になることが期待されています。
- ・地域の子育て支援の強化：講座で習得したスキルを地域で活かした人材が増えることで、子育て家庭からの SOS を受入れ子育てしやすい温かい地域づくりが進むと考えています。
- ・スキルアップ交流会を通じて、支援者間での経験を共有することで、支援活動に対する理解が深まり、実践力が向上しました。
- ・出産前後の家庭に向けた講座を実施し、妊娠期の支援に理解を深めることができました。

当市には多くの子育て家庭が存在し、支援者側は就労や介護をしながら活動している現状があるた

め、支援者の数は依然として不足しています。今後も「子育て支援者養成講座」を継続し、地域内外での支援者ネットワークを広げることが必要です。近隣市町とも連携し、さらに多くの理解者と支援者を育成していきたいと考えています。

成果の広報・公表

1. 参加者募集と周知活動

本養成講座の参加者募集のため、800 部のチラシを作成し、市民に広く周知を図りました。チラシには、講座の全体像や意義、目的、具体的な内容に加え、修了後の子育て支援活動についても案内し、地域の理解者や支援者の参加を促しました。

周知方法としては以下の手段を活用しました：

- ・市の広報誌
- ・当団体・子育て総合支援センターの WEB サイト
- ・市の公式 LINE
- ・公共施設や保育施設等への配布

これらを駆使して、多くの市民に情報を届けることができました。

2. 実施後の報告と広報活動

講座終了後は、実施状況の報告を行いました。具体的には、以下の方法で広報しました：

- ・WEB サイトおよび SNS で実施の様子をリアルタイムで発信
- ・ニュースレターで「養成・研修事業報告」として基礎講座・専門講座の実施状況を報告。これにより、当法人の会員や関係団体、市民の方々に支援者養成講座の必要性について理解を深めてもらいました。

■ 今後の展開

1. 講座内容や実施方法の検討

当市では核家族での子育てが多く、子育て支援活動を通じて多世代とのつながりが生まれる一方で、子育てや介護の影響で支援者が活動を離れるケースもあります。そのため、子育て支援の人材は依然として不足しており、この課題に取り組む必要があります。

今後、講座内容や実施方法を見直し、地域の理解者や支援従事者としての人材育成を引き続き行い、地域全体で子育てを支える環境作りに貢献していきたいと考えています。

2. 広報と効果的な情報発信

地域住民に子育て支援活動を知ってもらうため、広報活動を強化し、講座や支援活動への関心を高めます。

- ・ **SNS や WEB サイトの活用**：講座や支援活動の最新情報を SNS や WEB サイトで発信し、参加者の声や実績を紹介することで、地域住民の関心を引きます。